

## 高カロリー輸液の交換方法 ～輸液セットを使用している場合～

### 準備するもの

- ・ 輸液剤
- ・ アルコール綿  
（ワンショットプラス）



☆あらかじめ薬剤が注入されている場合には冷蔵庫で保管します。  
そして、使用1時間前に冷蔵庫から出しておきます。  
冷蔵庫から取り出してすぐに輸液を使用すると、急激な温度変化のため輸液  
バック内に気泡が たくさん生じてしまいます。ご注意ください。

### 手順

1. 外袋から輸液剤を取り出す。  
所定の方法で開封し、台に置く。  
遮光袋が必要とされる場合には袋をかけ、  
台に置く。



## 高カロリー輸液の交換方法 ～輸液セットを使用している場合～

2.使用中の輸液剤の点滴セットのクレンメを閉める。



3.新しい輸液剤のゴム栓についているセロアンをはがす。



4.今まで使用していた輸液剤のゴム栓から輸液セットの針をはずし、新しい輸液剤のゴム栓に針を差しかえる。



5. 針を差し替えた輸液剤をフックにかける。



6.クレンメのローラーを上へ上げ、滴下筒にしずくが落ちることを確認する。



( ) 秒 ( ) 滴にする。

これで終了です。

# <こんなときはどうするの？>

## 輸液が滴下しない（落ちてこない）

- ①ローラーが下に下がっていないか確認する。
- ②輸液セットの折れ曲がりはないか確認する。
- ③どうしても滴下しないときには、ヘパリン生食注を注入する。  
ヘパリン生食注の注入方法は、<ヘパリンロックの方法>のパンフレットを参照。

## 輸液セットの中に空気が入った

- ①小さな気泡ならば問題ない。
- ②どうしても気になる場合には、輸液セットを指ではじいて気泡を上の方に移動させる。
- ③②を行っても効果がない場合には、クレンメを閉め、体側のチューブの接続を離し、クレンメを開放させて、空気をチューブから追い出す。そして再度接続する。この際アルコール綿で接続部を消毒する。

## 輸液セットの管の中に血液が逆流している

- ①輸液セットが外れていないか確認する。外れていたら新しい輸液セットに交換する。
- ②輸液が空になっていないか確認する。
- ③輸液の位置を高くしてみる。

## 輸液セットが輸液バックから外れた

- ①カテーテルが血液の逆流で閉鎖しないように、体側に一番近いチューブの青い接続部から輸液セットをはずし、ヘパリン生食注を注入する。  
<ヘパリンロックの方法>のパンフレットを参照。
- ②輸液バックのゴム栓をアルコール綿でふき、新しい輸液セットを接続し再開する。  
☆わからない場合には訪問看護師に相談する

## 体内に挿入されているカテーテルが抜けてしまった

- ①抜けた部分をガーゼで抑え、血が止まっているか確認する。
- ②輸液を止める（クレンメを閉める）
- ③医師や訪問看護師に連絡する

## 挿入されている部分が痛む、腫れている、赤くなっている

輸液を中止し、訪問看護師や医師に相談する。

## 輸液ポンプのアラームが鳴る

- ①何が起きたのか、警告内容を確認し、説明書を見る。
- ②訪問看護師に相談する。

無理する必要はありません。対処できない時には、訪問看護師に連絡しましょう。